



タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3525		
科目名	警察制度		
担当教員	金山 泰介		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 3		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識 10% E1学識と専門技能 50% G1状況把握 10% I1理解・分析と読解 10% I2量的分析 10% I3情報分析 10%		
教員の実務経験	警察庁、都道府県警察、内閣官房、在タイ日本大使館等34年間の実務経験を基に、日本警察の法制について諸外国の警察との比較を交えながら、具体的に説明します。(第9～14回)		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	警察活動の全体像を把握し、理解するために、幅広く警察制度について考察します。行政の中に位置づけられる警察法や、警察官職務執行法について学び、法学的視点による警察活動の理解を確立します。日本の警察制度を中心に考察しつつ、欧米の警察制度と比較しながら日本の警察制度の特徴を自らの言葉で説明できることを目標とします。授業形態は、講義形式で行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れます。 （キーワード）警察法・警察官職務執行法・警察組織・警察の倫理		
授業の趣旨	■副題 日本警察の組織及び権限を学ぶ。 ■授業の目的 日本警察の歴史、法的仕組、警察権限法令及び欧米の警察制度の比較等から、日本警察についての基本的な知識を習得し、より専門的な警察政策等の学習の基盤を作る。 ■授業のポイント 法制度の変遷とその背景を理解することで、現行法制の意義を立体的に理解すること。		
総合到達目標	■一般目標（GIO） 日本警察の特徴を警察組織法及び警察権限法に基づき、欧米の警察制度との比較にも触れなが		

	ら、制度及び権限の両面について具体的に説明できるようになること。 ■個別行動目標（SBOs） ・警察制度の変遷について説明できる。（第2回） ・警察法及び警察官職務執行法の概要を説明できる。（第3、4回） ・危険事態に対処する場合の基本的な警察活動について法的根拠を説明できる（第9～11回）。 ・公務員及び警察官の倫理の概要について説明できる。（第5～7回）														
成績評価方法	■レポート2回（80%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I2・I3 （評価の視点） 警察に関する断片的な知識の羅列ではなく、社会の発展や国民の意識の変化とのかかわりなど制度や権限の変遷等現行法制の背景を踏まえた総合的な論述を求めます。理解の正しさ、表現力も評価します。 （フィードバックの方法） 授業内で論点等の解説をします。 ■リアクションペーパー（20%）：適用ルーブリック E1・I1 （評価の視点） 予習・復習の励行の有無が評価されます。 （フィードバックの方法） 授業内で説明します。														
履修条件	特にありません。														
履修上の注意点	警察に関する報道に関心を持って接してください。														
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義の項目、評価の方法等を理解する。 ③予習（60分）シラバスの精読 テキストの入手 ④復習（60分）講義ノートを整理し、自らの学習計画と他の履修科目との関係について検討する。</td></tr><tr><td>2</td><td>①授業テーマ 警察の制度と歴史 ②授業概要 警察制度の歴史について学ぶとともに、節目節目の警察制度改編の背景（E）を説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、明治憲法下の警察と現行警察との違いを考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、旧警察法と新警察法の違いをまとめる。</td></tr><tr><td>3</td><td>①授業テーマ 警察法Ⅰ（警察の責務、権限） ②授業概要 警察法に規定する警察の責務及び権限（E）について、教員の実務経験に基づく解説を踏まえ具体的に説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、警察の責務について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、警察の権限の多くが警察官個人に付与されている理由をまとめる。</td></tr><tr><td>4</td><td>①授業テーマ 警察法Ⅱ（組織） ②授業概要 警察法に規定する警察の組織及び警察官（E）について説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、日本警察制度の特徴を考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、日本警察と欧米の警察制度の相違点をまとめる。</td></tr><tr><td>5</td><td>①授業テーマ 警察の倫理Ⅰ（公務員の倫理） ②授業概要 公務員法の倫理規定、国家公務員倫理法の概要及びその立法の背景（C）について説明できるようになる。（E1・C1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、公務員倫理の重要性について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、公務員倫理規制の法的枠組みについてまとめる。</td></tr><tr><td>6</td><td>①授業テーマ 警察の倫理Ⅱ（グループ討議） ②授業概要 前回の講義を踏まえ警察官の倫理（C）についてグループ討議（H、K）を行う。（C1・E1・G1・I1・I3） ③予習（120分）指示された課題について検討する。</td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義の項目、評価の方法等を理解する。 ③予習（60分）シラバスの精読 テキストの入手 ④復習（60分）講義ノートを整理し、自らの学習計画と他の履修科目との関係について検討する。	2	①授業テーマ 警察の制度と歴史 ②授業概要 警察制度の歴史について学ぶとともに、節目節目の警察制度改編の背景（E）を説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、明治憲法下の警察と現行警察との違いを考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、旧警察法と新警察法の違いをまとめる。	3	①授業テーマ 警察法Ⅰ（警察の責務、権限） ②授業概要 警察法に規定する警察の責務及び権限（E）について、教員の実務経験に基づく解説を踏まえ具体的に説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、警察の責務について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、警察の権限の多くが警察官個人に付与されている理由をまとめる。	4	①授業テーマ 警察法Ⅱ（組織） ②授業概要 警察法に規定する警察の組織及び警察官（E）について説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、日本警察制度の特徴を考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、日本警察と欧米の警察制度の相違点をまとめる。	5	①授業テーマ 警察の倫理Ⅰ（公務員の倫理） ②授業概要 公務員法の倫理規定、国家公務員倫理法の概要及びその立法の背景（C）について説明できるようになる。（E1・C1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、公務員倫理の重要性について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、公務員倫理規制の法的枠組みについてまとめる。	6	①授業テーマ 警察の倫理Ⅱ（グループ討議） ②授業概要 前回の講義を踏まえ警察官の倫理（C）についてグループ討議（H、K）を行う。（C1・E1・G1・I1・I3） ③予習（120分）指示された課題について検討する。
回	内容														
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義の項目、評価の方法等を理解する。 ③予習（60分）シラバスの精読 テキストの入手 ④復習（60分）講義ノートを整理し、自らの学習計画と他の履修科目との関係について検討する。														
2	①授業テーマ 警察の制度と歴史 ②授業概要 警察制度の歴史について学ぶとともに、節目節目の警察制度改編の背景（E）を説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、明治憲法下の警察と現行警察との違いを考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、旧警察法と新警察法の違いをまとめる。														
3	①授業テーマ 警察法Ⅰ（警察の責務、権限） ②授業概要 警察法に規定する警察の責務及び権限（E）について、教員の実務経験に基づく解説を踏まえ具体的に説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、警察の責務について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、警察の権限の多くが警察官個人に付与されている理由をまとめる。														
4	①授業テーマ 警察法Ⅱ（組織） ②授業概要 警察法に規定する警察の組織及び警察官（E）について説明できるようになる。（E1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、日本警察制度の特徴を考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、日本警察と欧米の警察制度の相違点をまとめる。														
5	①授業テーマ 警察の倫理Ⅰ（公務員の倫理） ②授業概要 公務員法の倫理規定、国家公務員倫理法の概要及びその立法の背景（C）について説明できるようになる。（E1・C1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、公務員倫理の重要性について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、公務員倫理規制の法的枠組みについてまとめる。														
6	①授業テーマ 警察の倫理Ⅱ（グループ討議） ②授業概要 前回の講義を踏まえ警察官の倫理（C）についてグループ討議（H、K）を行う。（C1・E1・G1・I1・I3） ③予習（120分）指示された課題について検討する。														

	④復習（120分）講義ノートを整理し、他グループの発表と自グループの発表を比較する。
7	①授業テーマ 警察の倫理Ⅲ（警察官の倫理） ②授業概要 警察官の職務倫理の概要及びその特徴（C）について説明できるようになる。（C1・E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、警察倫理と公務員理の違いを考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、警察官は一般公務員よりも高い倫理性が求められる理由についてまとめる。
8	①授業テーマ 中間試験と前半のまとめ ②授業概要 前半の講義内容から出題する。出題の解説に基づき前半の講義のポイントを押さえる。（C1・E1・G1・I1・I2・I3） ③予習（240分）試験の準備をする。 ④復習（60分）解説に基づき答案を再構成する。
9	①授業テーマ 警察官職務執行法Ⅰ（職務質問） ②授業概要 警察官職務執行法の概要及び職務質問及びその具体的な適用（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、主要な判例について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、職務質問の限界について主要判例に基づきまとめる。
10	①授業テーマ 警察官職務執行法Ⅱ（保護、避難等の措置） ②授業概要 警察官職務執行法の保護及び避難等の措置及びその具体的な適用（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、保護の意義について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、保護の限界について主要判例に基づきまとめる。
11	①授業テーマ 警察官職務執行法Ⅲ（立入、武器の使用） ②授業概要 警察官職務執行法の立入、武器の使用及びその具体的な適用（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、武器の意義について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、拳銃使用の限界について主要判例に基づきまとめる。
12	①授業テーマ 刑事訴訟法Ⅰ（捜査） ②授業概要 刑事訴訟法に基づく警察捜査の概要及び任意捜査の本質（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、捜査の目的を考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、任意捜査の限界について主要判例に基づきまとめる。
13	①授業テーマ 刑事訴訟法Ⅱ（逮捕、搜索差押） ②授業概要 刑事訴訟法に基づく強制捜査及びその具体的な適用（E）について説明できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、逮捕権行使の要件について考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、逮捕権行使に当たって考慮すべき事項をまとめる。
14	①授業テーマ ケーススタディ ②授業概要 警職法、刑訴法の執行に関するケーススタディ（G、I）による両法適用の具体的な留意点について議論できるようになる。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（C1・E1・G1・I1・I3） ③予習（120分）警職法、刑訴法の講義内容の復習 ④復習（120分）講義ノートを整理し、警職法、刑訴法適用の具体的留意点についてまとめる。
15	①授業テーマ 期末試験と後半のまとめ ②授業概要 講義全体から出題する。出題の解説に基づき講義のポイントを押さえる。

	(C1・E1・G1・I1・I2・I3) ③予習（300分）試験の準備をする。 ④復習（60分）解説に基づき答案を再構成する。
関連科目	社会安全政策論(RMGT3521) 警察政策(RMGT3530) 刑事政策(RMGT3526) 犯罪と捜査(RMGT3529)
教科書	「新版 警察行政概論」金山泰介 立花書房（2019）
参考書・参考URL	「警察白書 令和元年版」 警察庁
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 初回授業時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限（重複を避けるためメールで連絡願います。）その他の時間でもメールで事前アポをとることにより、研究室で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ（70%）災害マネジメント（10%）グローバルセキュリティ（10%）情報セキュリティ（10%） ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学（50%）法学（50%）

